

2019年現役若手プロ野球選手への「セカンドキャリアに関するアンケート」結果

2019年10月7日～10月28日に開催された「第16回みやぎフェニックス・リーグ」(以下、「フェニックス・リーグ」)に参加したプロ野球12球団選手に対して、引退後のセカンドキャリアに関するアンケートを実施しましたので、その結果を別紙の通りお知らせいたします。

なお、本アンケートは「フェニックス・リーグ」に参加していた選手のみが対象となっているため、限定的な位置づけであることを前提に内容をご確認ください。

2019年現役若手プロ野球選手への「セカンドキャリア」に関するアンケート結果

- ◆対象：フェニックス・リーグに参加した12球団所属選手
218名配布・215名回収 回収率98.6%（※n数=215）

- ◆調査方法：無記名によるアンケート記入方式

【属性】

- 平均年齢：23.1歳

〔内訳〕

年齢	人数	割合
18～22歳	97	45.1%
23～26歳	81	37.7%
27～30歳	28	13.0%
31歳以上	5	2.3%
回答なし	4	1.9%

- 12球団在籍平均年数：3.2年

- 入団前経歴：

〔内訳〕

経歴	人数	割合
高校	107名	49.8%
専門学校	0名	0.0%
大学	56名	26.0%
社会人	31名	14.4%
その他	7名	3.3%
回答なし	14名	6.5%

- 回答者平均年俸：994.5万円（※中央値：600.0万円）

- 独身・既婚比率：独身168名(78.1%)・既婚41名(19.1%)・回答なし6名(2.8%)

- 主要ポジション：

〔内訳〕

ポジション	人数	割合
投手	103名	47.9%
捕手	25名	11.6%
内野手	45名	20.9%
外野手	39名	18.1%
回答なし	3名	1.4%

【全体サマリー】※詳細別紙参照

- 引退後の生活に不安を感じている選手：104名 48.4%
- 「不安」の要素：
- 引退後どのような仕事をしてみたいか？：「やってみたい」の回答数

〔詳細〕

内容	割合
起業・会社経営	21.4%
社会人で現役続行	16.3%
12球団の監督・コーチ等指導者	15.8%
高校野球指導者	15.8%
一般企業の会社員	13.5%

〔注釈〕

今回の2019年アンケート調査より、より詳細なデータとするために、それまで「一般企業に就職」に1本化されていた内容を「一般企業の会社員」・「教師」・「地方公務員(警察官、市役所職員など)」に細分化しました。

そのため、「一般企業に就職」というデータの数値が、昨年までと比較して分散されている可能性があります。

2019年現役若手プロ野球選手への「セカンドキャリア」に関するアンケート結果

〔別紙詳細〕

●設問1：引退後の生活に不安を持っているか？(n数=215)

- ・不安がある : 104名 48.4%
- ・不安はない : 43名 20.0%
- ・どちらともいえない : 66名 30.7%
- ・回答なし : 2名 0.9%

●設問2：不安な要素は何か？(設問1で「不安がある」回答者への設問・複数回答可 n数=104)

〔詳細〕

要素	人数	割合
収入面(生活していけるか?)	79名	76.0%
進路(引退後、何をやっていけばいいか?)	76名	73.1%
野球を離れることによる「やりがい」喪失	17名	16.3%
世間体(親戚や友人などの反応)	2名	1.9%
その他	0名	0.0%
回答なし	3名	2.9%

●設問3：引退後の進路について考えていますか？

〔詳細〕

要素	人数	割合
考えている	23名	10.7%
なんとなく考えている	73名	34.0%
考えていない	82名	38.1%
回答なし	37名	17.2%

➤半数近くの104名(48.4%)が「引退後の生活に不安がある」ものの、その進路などについては「考えていない」という結果となった。「現役時代のうちから次を考え始める」というのは難しい実情が浮かびあがった

【職業意識について】

●設問4：どのような職業がやってみたいですか？当てはまる気持ちに○を付けてください

〔詳細〕

	やってみたい	興味がある	あまり やりたくない	やりたくない	回答なし
海外球団で現役続行	7.4%	23.7%	14.0%	43.3%	11.6%
独立リーグで現役続行	3.7%	6.5%	17.7%	60.5%	11.6%
社会人・クラブチームで現役続行	16.3%	34.4%	13.0%	26.5%	9.8%
海外球団の指導者	2.8%	8.4%	21.4%	55.8%	11.6%
独立リーグの指導者	2.8%	12.6%	21.4%	52.1%	11.2%
社会人・クラブチームの指導者	7.4%	27.4%	16.7%	37.7%	10.7%
ジュニアアカデミー等子どもの指導者	5.6%	27.4%	20.0%	36.3%	10.7%
高校野球の指導者	15.8%	37.2%	15.3%	24.7%	7.0%
大学野球の指導者	9.8%	31.2%	17.2%	32.1%	9.8%
12球団の監督・コーチ等指導者	15.8%	26.0%	17.7%	29.8%	10.7%
バッティングピッチャーなどの裏方	6.0%	26.5%	26.5%	30.7%	10.2%
12球団スカウト・スコアラー	8.8%	28.8%	22.3%	30.7%	9.3%
12球団の営業担当等 球団職員	6.5%	29.3%	22.8%	33.0%	8.4%
プロ野球解説者	6.0%	18.6%	22.8%	40.9%	11.6%
一般企業に就職(会社員)	13.5%	42.8%	19.1%	15.8%	8.8%
教員免許を取って教師	8.8%	22.8%	28.8%	29.8%	9.8%
警察官や市役所職員などの公務員	7.9%	23.3%	29.3%	29.3%	10.2%
会社経営者(独立・起業)	21.4%	33.0%	20.9%	17.2%	7.4%
他競技(クリケット・競輪等)へ転向	3.7%	11.2%	23.3%	50.2%	11.6%
大学・専門学校等への進学	8.8%	12.1%	19.1%	50.7%	9.3%

※「やってみたい」仕事：2018年との比較

2019年		2018年	
①会社経営者(独立・起業)	21.4%	①一般企業で会社員	15.1%
②社会人・クラブチームで現役続行	16.3%	②大学・社会人指導者	12.3%
③12球団の監督・コーチ等指導者	15.8%	③社会人・クラブチームで現役続行	11.5%
③高校野球の指導者	15.8%	④高校野球指導者	11.1%
⑤一般企業で会社員	13.5%	⑤海外球団で現役続行	8.7%
⑥大学野球の指導者	9.8%	⑥12球団の監督・コーチ等指導者	8.3%
⑦12球団スカウト・スコアラー	8.8%	⑥会社経営者(独立・起業)	8.3%
⑦教員免許を取って教師	8.8%	⑧12球団スカウト・スコアラー	6.0%
⑦大学・専門学校へ進学	8.8%		

※「やってみたい」仕事の推移

2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年
① 会社経営者	① 一般企業会社員	① 高校野球指導者	① 高校野球指導者	① 高校野球指導者	① 高校野球指導者	① 高校野球指導者	① プロ野球指導者	① 高校野球指導者
② 社会人で現役続行	② 大学・社会人指導者	② プロ野球指導者	② 大学・社会人指導者	② 大学・社会人指導者	② 大学・社会人指導者	② 大学・社会人指導者	② 高校野球指導者	② 大学・社会人指導者
③ 12球団の監督・コーチ	③ 社会人で現役続行	③ 大学・社会人指導者	③ プロ野球指導者	③ プロ野球指導者	③ プロ野球指導者	③ プロ野球指導者	③ スカウト・スコアラー	③ プロ野球指導者
③ 高校野球指導者	④ 高校野球指導者	④ 海外で現役続行	④ 一般企業会社員	④ 海外で現役続行	④ 海外で現役続行	④ スカウト・スコアラー	④ 大学・社会人指導者	④ アカデミー等子供指導者
⑤ 一般企業会社員	⑤ 海外で現役続行	④ 飲食店等独立開業	⑤ 海外で現役続行	④ スカウト・スコアラー	④ スカウト・スコアラー	⑤ 飲食店等独立開業	⑤ 飲食店等独立開業	⑤ スカウト・スコアラー

【学生野球資格回復について】

- 設問1：プロ・アマが主催する「学生野球資格回復研修会」を受講すれば学生野球指導に携わることができていることを知っていますか？

〔詳細〕

要素	人数	割合
手続きまで良く知っている	12名	5.6%
聞いたことはあるが詳細は知らない	124名	57.7%
まったく知らない	70名	32.6%
回答なし	9名	4.2%

- 設問2：「学生野球資格回復研修会」を受講し、資格を回復したいですか？

〔詳細〕

要素	人数	割合
ぜひ受講したい	30名	14.0%
機会があったら受講したい	85名	39.5%
受講しない	34名	15.8%
考えたことがなかったので分からない	58名	27.0%
回答なし	8名	3.7%

※「ぜひ受講したい」「機会があったら受講したい」推移

要素	2019年	2018年	2017年
ぜひ受講したい	14.0%	13.5%	16.0%
機会があったら受講したい	39.5%	47.6%	44.0%
合計	53.5%	61.1%	60.0%

●設問3：どのような形で学生野球に関りたいですか？(設問●で「ぜひ受講したい」「機会があったら受講したい」回答者への設問 n数=115)

〔詳細〕

要素	人数	割合
監督として野球部を率いたい	34名	29.6%
コーチ等指導の一部を担いたい	33名	28.7%
野球を通して学生と触れ合いたい	41名	35.7%
わからない	6名	5.2%
回答なし	1名	0.9%

※「どのような形で学生野球に関りたいか？」推移

	2019年	2018年	2017年
監督として野球部を率いたい	29.6%	22.1%	25.7%
コーチ等指導の一部を担いたい	28.7%	44.2%	52.1%
野球を通して学生と触れ合いたい	35.7%	14.9%	15.0%
わからない	5.2%	18.8%	5.0%
回答なし	0.9%	0%	2.1%

➤「監督として」または「コーチとして」のように日常的に「学生野球に携わりたい」の回答数は、2017年は、77.8%、2018年は66.3%(前年比▲11.5%)、2019年では58.3%(前年比▲8.0%)と大きな減少を続けている